

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成22年10月1日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

● **需要面・・・個人消費は、低調ながら、一部に持ち直しの動きがみられる。**

大型小売店販売額(店舗調整後)は前年を下回ったが、ホームセンター・家電量販店販売額は前年を上回った。(7月)

乗用車新車新規登録台数、新設住宅着工戸数、用途別着工建築物工事金額は前年を上回ったが、公共工事請負金額は前年を下回った。(8月)

● **産業面・・・鉱工業生産は、持ち直しの傾向があるものの足踏み状態。**

鉱工業生産指数は、季節調整済指数が前月を下回ったが、原指数は前年を上回った。(7月)

● **雇用面・・・雇用情勢は、厳しい状況にある。**

きまって支給する給与、所定外労働時間ともに前年を上回った。(7月)

求人倍率は、有効、新規ともに前月を上回った。新規求人数は前年を上回った。(8月)

○ **需要面の動き**

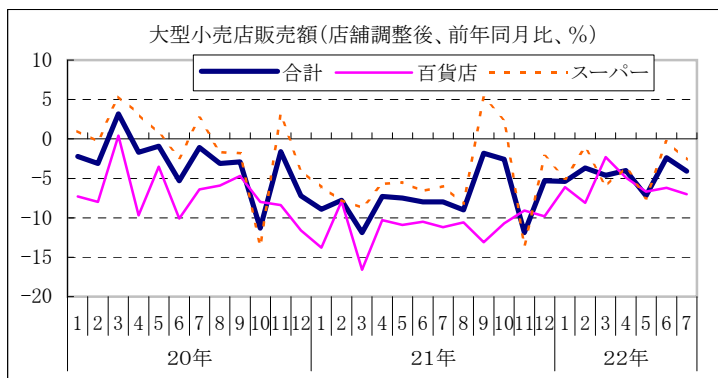
大型小売店販売額(7月)

全店舗の販売額は、54億2,300万円(前年同月比5.0%減)と8か月ぶりに前年を下回り、店舗調整後でも28か月続いて前年を下回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比	
合計	542,300	▲5.0	(▲4.1)
百貨店	178,000	▲7.0	(▲7.0)
スーパー	364,300	▲4.0	(▲2.6)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(7月)

40億7,000万円(前年同月比11.0%増)と11か月続いて前年を上回った。

乗用車新車新規登録台数(8月)

1,876台(前年同月比38.7%増)と15か月続いて前年を上回った。普通車、小型車の区分は15か月続いて前年を上回り、軽自動車は5か月続いて前年を上回った。

新設住宅着工戸数(8月)

179戸(前年同月比4.1%増)と2か月続いて前年を上回った。持家系(前年同月比1.9%増)、貸家系(前年同月比7.4%増)ともに前年を上回った。

用途別着工建築物工事金額(8月)

21億100万円(前年同月比447.8%増)と前年を上回った。用途別では、製造業(前年同月比8780.0%増)、宿泊業・飲食サービス業(前年同月比皆増)等で前年を上回った。

公共工事請負金額(8月)

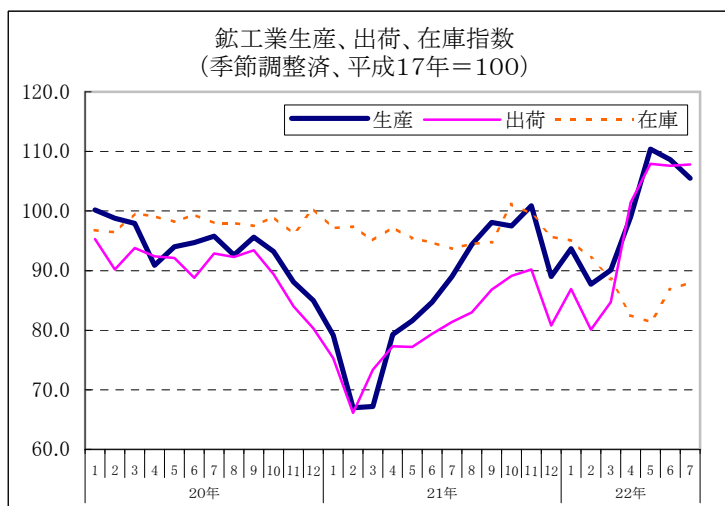
85億8,700万円(前年同月比1.2%減)と2か月続いて前年を下回った。発注者別の内訳では、国(前年同月比24.6%増)、市町村(前年同月比15.8%増)で前年を上回ったが、県(前年同月比17.4%減)は前年を下回った。

○ **産業面の動き**

鉱工業指数(7月)

生産指数(季節調整済)は105.5(前月比2.9%低下)と2か月続いて低下となり、原指数は107.6(前年同月比15.7%上昇)と12か月続いて上昇となった。

内訳を前月比で見ると、食料品・たばこが3.3%上昇となり2か月ぶりの上昇、電子部品・デバイスが8.2%低下となり2か月連続の低下、電気機械が9.1%上昇となり2か月ぶりの上昇、一般機械が2.9%上昇となり4か月連続の上昇となった。在庫指数(季節調整済)は88.0と前月比1.4%上昇した。



大口需要電力実績(7月)

144,562kwh(前年同月比3.8%増)と2か月続いて前年を上回った。鉱工業用の大口需用電力は主要4区分の全てで前年を上回った。

青果物卸売量(8月、鳥取市場)

野菜が1,319t(前年同月比2.2%減)と8か月続いて前年を下回り、果実は907t(前年同月比14.7%減)と2か月ぶりに前年を下回った。

漁獲量(8月、境港)

6,467t(前年同月比11.8%減)と3か月続いて前年を下回った。

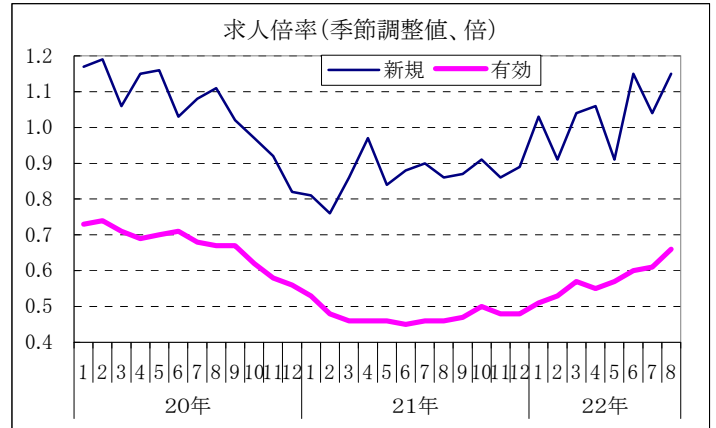
○雇用・金融面の動き

新規求人倍率(8月)

1.15倍(前月差0.11ポイント上昇、前年同月差0.29ポイント上昇)であった。なお、新規求人数は、3,656人(前年同月比15.3%増)と2か月ぶりに前年を上回った。

有効求人倍率(8月)

0.66倍(前月差0.05ポイント上昇、前年同月差0.20ポイント上昇)となっており、3か月続いて0.6倍台となった。



現金給与総額(7月)

353,509円(前年同月比2.7%増)と2か月ぶりに前年を上回った。そのうち、きまって支給する給与は、242,472円(前年同月比1.0%増)で4か月続いて前年を上回った。

所定外労働時間(7月)

8.0時間(前年同月比12.7%増)と8か月続いて前年を上回った。主力の製造業は50.2%増となった。産業別の前年同月比では、複合サービス事業(前年同月比38.3%増)等で前年を上回り、電気・ガス・熱供給・水道業(前年同月比19.3%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(7月末)

預金残高は、2兆180億円(前年同月比3.5%増)と19か月続いて前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,454億円(前年同月比0.5%増)と15か月続いて前年を上回った。

○参考

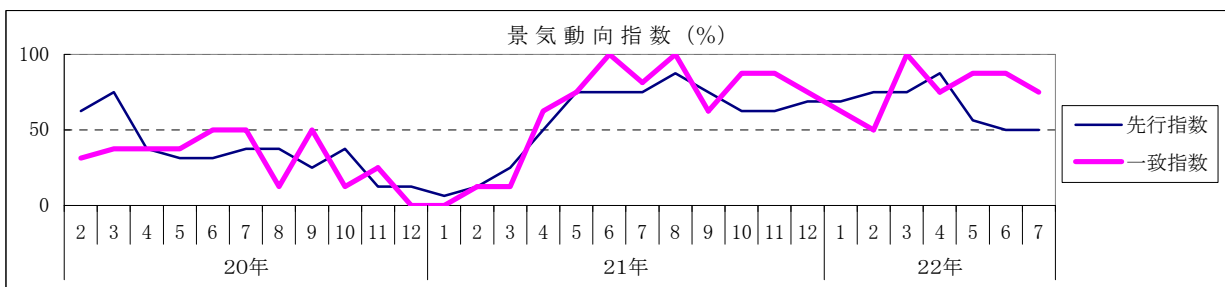
鳥取県景気動向指数(7月)

先行指数50.0%、一致指数75.0%、遅行指数60.0%となった。

先行指数は16か月続いて50%以上となった。

一致指数は16か月続いて50%以上となった。

遅行指数は3か月続いて50%以上となった。



企業倒産(8月)

件数は1件(前年同月比80.0%減)で前年を下回り、負債総額も1億円(前年同月比56.1%減)で前年を下回った。

消費者物価指数(8月、鳥取市、総合、平成17年=100)

98.9となり、前月比(0.6%)は上昇、前年同月比(▲1.2%)は低下した。

鳥取県の推計人口(9月1日現在)

587,979人で、前月と比べて2人(0.00%)減少し、前年同月と比べて3,427人(0.58%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成22年8月調査)

平成22年7～9月期は、平成22年4～6月期に比べると、景気及び経常利益がやや不調、売上高がやや好調となっている。

平成22年10～12月期は、平成22年7～9月期に比べると、景気、売上高及び経常利益のいずれもがやや好調となる見通しとなっている。